

救 助 概 況

平成 22 年中の救助出動件数は 52 件で、前年に比べ 12 件減少している。救助活動件数は 20 件で、4 件減少している。

なお、救助人員は 23 人で、前年と同じになっている。(下表参照)

救助活動件数及び救助人員の推移

区分 年	救 助 活 動 件 数		救 助 人 員	
	件 数	対前年増減率	人 員	対前年増減率
18 年	2 8	1 2 . 0 %	2 3	2 0 . 7 %
19 年	3 6	2 8 . 6 %	3 7	6 0 . 9 %
20 年	2 4	3 3 . 3 %	2 2	4 0 . 5 %
21 年	2 4	0 %	2 3	4 . 5 %
22 年	2 0	1 6 . 6 %	2 3	0 %

事故種別ごとに出動件数をみると、最も多いのは、交通事故の 22 件で全体の 42.3%を占めている。次いで火災の 13 件(25.0%)で、以下その他の事故の 10 件(19.2%)、水難事故の 7 件(13.5%)の順となっている。

また、救助活動件数では、交通事故が最も多く 12 件で全体の 60%を占め、次いでその他の事故の 5 件(25%)、水難事故の 3 件(15%)の順となっている。

救助人員は 23 人で、救助活動 1 件当たり 1.15 人を救助していることになり、事故種別ごとにみると、交通事故によるものが 13 人で、昨年と同様最も多く、全体の 56.5%を占めている。